



Groove
Designs

my grooveサービスご紹介

株式会社 Groove Designs



私たちは、「人とまちの関係性をデザインする」を
ミッションに掲げ、まちづくり×地域DXを強みとする
都市デザイン会社です。

| 経営メンバー



代表取締役 三谷 繭子 | Mayuko Mitani

地域づくりの現場経験豊富な
都市デザイン/まちづくり専門家



取締役 東 宏一 | Koichi Higashi

デジタル庁、自治体でのDX推進
実績をもつ行政DXの専門家

| これまでの取り組み例

ウォークラブルなまちづくり



福山駅前歩道空間等活用社会実験
OPEN STREET FUKUYAMA

プレイスメイキング



KIDIYS PARK WS支援

エリアプラットフォーム



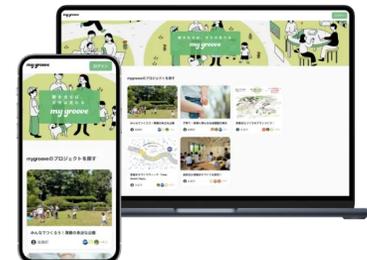
甲府市官民連携まちなか再生
推進支援業務

ほこみち



歩行者利便増進道路(ほこみち)
事務局運営業務

住民参加・まちづくりDX



地域エンゲージメント
プラットフォームmy groove



my grooveは、若い世代や多様な人々のまちとの接点を生み、参加につなげる、地域エンゲージメントプラットフォームです。

従来のワークショップなどリアルな場での参加機会を補完・代替し、より参加の裾野を広げながら、計画・ビジョン策定、まちづくり活動や、スマートシティの取り組みでの地域連携を後押しします。

形式的な参加ではなく、地域に関わる人々を巻き込み、ともにまちづくりを進めていくパートナーを増やすことにつながります。

これまでの導入実績



NEC
NECソリューションイノベータ

テダソチマ

実証実験地域も含む

全国で30以上のプロジェクトを推進
(2024年5月時点)

こんな悩みはありませんか？

住民・地域を巻き込んでともに進めていきたい。でも、どうしたら良いかわからない、そのために割けるリソースが限られており効果的・効率的な方法を知りたい、という方をご支援しています。



自治体で都市計画や、まちづくりに取り組む方

- ・若い世代や多様な方の声を策定業務に取り入れたい
- ・事業進捗やプロセスが外から見えずらいという声を受けている
- ・行政への要望ではなく、一緒にまちづくりに取り組む仲間を地域に増やしたい



都市計画コンサルティング会社の方

- ・ワークショップだと参加者層が偏ってしまい、多様な声を反映できていない
- ・多様な方に届く情報発信をしたいが、専用のHPを構築する余裕はない
- ・策定プロセスを通して地域の機運醸成をしたいが、進め方が分からない



地域連携・官民連携に取り組む企業の方

- ・地域の人々を、どこでどう巻き込めばよいのか分からない
- ・スマートシティの取り組みを地域にどう受け入れられるものにしていったらよいかわからない
- ・地域との連携は取り組みたいが、リソースが限られている



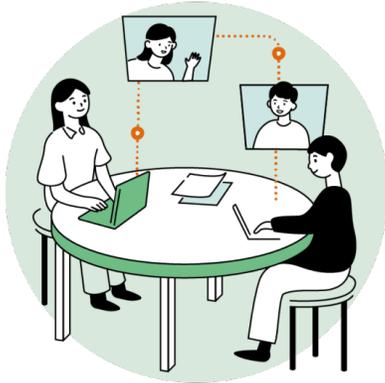
まちづくりの動きを可視化し、透明性の高いプロジェクト推進を実現

まちづくりや計画・ビジョン策定の情報を時系列で可視化できます。途中から参加する人や、情報を得るだけの人も、見通しを持ちやすくなります。取り組みの目的やアウトプットのイメージなどをわかりやすく整理でき、関係者と情報を共有しやすくなります。



多様な世代が参画しやすい、オンラインプラットフォームを簡単構築

my grooveの利用者は**20-40代が70%超**。地域とのつながりが薄い若い世代や、仕事や子育てが忙しい世代も、気軽に参加することが可能です。「実は興味関心を持っている」潜在層については、ワークショップに比べ、**7倍の参加**が見られています。



まちづくりの専門家による、丁寧なコンサルティングと伴走支援

全国で30以上の、デジタルとリアルを組合わせた計画策定やまちづくりプロジェクトの支援で得たノウハウをもとに、アドバイスを行います。そもそも地域や市民の巻き込みについてどこから手を付けてどう進めたらよいのかわからない、という場合にも、企画段階からアドバイスを行うことができます。

参加型まちづくりを推進し、コミュニティ形成を目指す上で必要な様々な機能を有しています。
無料デモも対応しておりますので、詳細についてはお気軽にお問い合わせください。



専用ページ構築

まちづくりプロジェクト・テーマごとに専用ページを立ち上げられます。



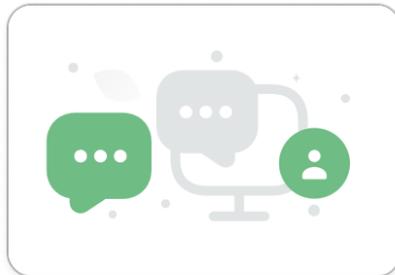
プロジェクトマップ

進捗をフェーズに分けて整理でき、プロセス可視化・透明性向上につなげます。



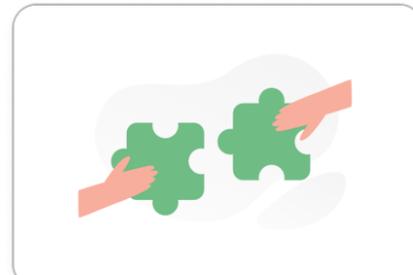
情報発信

情報発信用の記事作成ができます。
投稿のみの権限も付与できます。



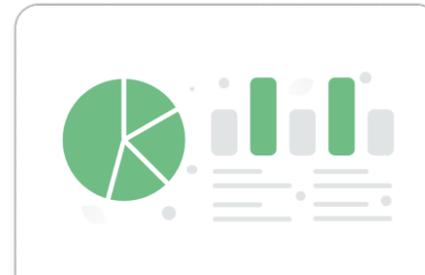
意見募集

設定した問いに対して、意見募集を行うことができます。



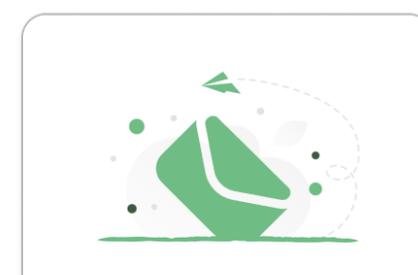
協力募集

「できる時に、できる形で」参加や協力を募ることが可能です。



ダッシュボード

被閲覧状況や参加状況をリアルタイムで把握できます。



ニュースレター

継続的な参加を実現するため、自動/手動でのお知らせが可能です。

市民とのコミュニケーションが格段にやりやすくなった

「my groove」を使ったことで、市民の方たちとのコミュニケーションが格段にやりやすくなったと思います。普段はこちらから情報発信して市民から反応を返してもらうだけのやり取りでしたが、今回はお互いに意見交換ができて、かつウェブ上で信頼関係も築けました。今までとは異なる、行政と市民の新しいコミュニケーションのあり方だと感じました。



栃木県小山市
都市整備部まちづくり推進課 担当者

一緒に情報整理をしてもらいゴールが明確になった

今年度からSDGsに取り組むことになり、具体的に何をしたら良いか、実際にやりながら次の活動を考える状況でした。そんな時に、my grooveを使ってみることになり、効果的な発信のため、コンセプトや考え方をGroove Designsさんと一緒に情報整理をしたことで、何をすべきか、また、どのように進めていくかなどのヒントをもらうことができました。



兵庫県三田市
総合政策部 政策調整室 政策課 担当者

プラットフォームに情報が集約され、まち全体の活動の輪が広がった

まちで行われている各取り組みの全体像をプラットフォーム上で把握できた部分があったと思います。いくつかの取り組みが並行して進んでおり、SNS発信のみだと自身のコミュニティ内に情報発信が限定されてしまいますが、プラットフォーム上では全ての団体の情報が集約され、団体間で参加者を紹介し合ったりするなど、デジタル上で活動の輪が広がる効果があると感じました。



神奈川県真鶴町
政策推進課戦略推進係 担当者

丁寧な対話のおかげで課題解決を効果的・効率的に進めることができた

市民参加において様々な課題がある中で、初期の方向性を決める段階で丁寧な対話を行っていただき、事業のゴールはどこにあり

「my groove」を活用することで何をしたいのか、を明確にすることができました。導入初期にこういった議論を行えたことで、効果的・効率的に年間の取組みを進めることができ、結果として課題であった「若年層の参加」「継続的な参加」という面での効果を実感することができました。



北海道札幌市
まちづくり政策局 政策企画部 担当者

導入はプロジェクト単位で可能です。料金については事業・自治体規模に応じて変動する場合がありますため、お気軽にご相談ください！

導入前に対応可能な支援メニュー

事業自体の設計相談(1回無償)

都市計画・エリアビジョン策定、公共空間活用・社会実験、ウォークラブルなまちづくりなど多様なプロジェクト経験を持つ当社の視点から、事業の目的に立ち返ったアドバイスが可能です。

現段階でmy grooveを活用すべきかどうか、いつ利用すると良いのか、というところからお気軽にご相談ください。

庁内ワークショップ

(※こちらは無償でご提供できる方法もあります)

これから行政として取り組むべき市民参加のあり方について、部署横断で議論するワークショップを実施可能です。(これまで5自治体で開催実績あり)

庁内での連携、巻き込みに向けたきっかけづくりとなります。



「小山駅周辺エリアまちづくりプラン策定プロジェクト」 計画策定における質の高い意見収集・策定後の活動に巻き込むための布石として

my groove おやま



導入のねらい

小山駅周辺エリアまちづくり
プラン策定



“欲しい”をつくる、まちづくり。
『小山駅周辺地区まちづくりプラン(PLAN OYAMA)』策定プロジェクトでは、小山に暮らすみなさんと行政が共通のビジョンをもち、市民の皆さんが「ほしい暮らし」を実現するための指針づくりを進めています。

これまで、地区で活動する様々な主体と連携して取り組んできましたが、より多くの方の意見を取り入れながら一緒に取り組んでいくため、本特設サイトを開設しました！

行政と民間が連携して取り組む、駅周辺エリアの今後のビジョン策定プロジェクト。
情報発信と意見募集の場として活用した。
意見収集だけでなく、**策定後も見据えた市民の巻き込み**を意図して運用を行なった。

得られた成果

- 意見募集期間の **18日間 (2022/11/19～/12/6)** で、閲覧ページ数は1万を超え、**約200件の意見**が寄せられた。
- 投稿した人は **20-40代が80%**を占めた。
- 投稿された意見は **具体性があり熱量の高いものも多く**、その内容は歩きやすい・暮らしやすい小山駅周辺を実現していくうえで感じている課題や、具体的な提案にも及んだ。

ユーザーの声



- 自治体職員の声：
 - ・収集した意見で見落としとしていた大事な視点に気づかされた。
 - ・プロセスの透明性を高めることができたのが良かった。
- 市民からの反応：
 - ・サイト登録者の92%が策定後の活動へ何らかの形で参加したいと回答。
 - ・他の人の意見、思いを知ることができて良かった、という声が多かった。

導入事例紹介① – 計画策定での活用(栃木県小山市)



Groove
Designs

Q.どんなテーマで意見を集めたの？

1年半かけて検討してきた駅周辺の9エリアの**将来ビジョン案(下図)に対する意見収集**を実施。具体的なイメージをイラストで示したこともあり、具体的な意見・コメントが多く寄せられました。



祇園城通りは週末ホコ天ストリート

- ① 休日やイベント時は歩行者天国 / 車の音や交通事故を気にせずにイベントを楽しむ。
- ② グリーンスローモビリティ(低速移動サービス)の導入 / ちょっと遠いところに行くときには嬉しい。
- ③ イス・テーブル設置 / 散歩の途中に休める場所があって嬉しい。待ち合わせ場所にも便利。
- ④ 横断歩道設置 / 気になるあの店。迷回れずに行けるようになって嬉しい。
- ⑤ 歩道と車道の間に緑 / 車が近くて危ないと思っていたのが解消されたし、歩いて気持ちいい通りになって嬉しい。

▲各エリアの具体的な空間イメージイラストや、アクティビティイメージを掲載して意見を募った。

Q.集まった意見はどう生かしていくの？

集まった意見を整理したうえで、検討委員が再度協議を行いました。**仮案の段階で意見を集めたことで内容への反映がしやすく**、まちづくりプランの完成に向けて建設的な協議を行うことが可能となりました。

小山の特徴は、都市と地方の両方を併せ持っているということが特徴。農村部の人意見をくれたりするが、**市街化区域12万のうち、都市部の人の意見の6-7割の意見をどう聞いていくのかが重要**。だがその人たちは積極的に意見をくれるわけではない。**デジタルプラットフォームが、そういう人の意見を聞く場になる**のだろう。

市長からの振り返り



Q.どんな意見が集まったの？

コメント例 (一部)



ichigoole

2022-12-05



図書館も建て替えというよりは、今のベースを活かしてカフェスペースを導入したり、駐車場の位置を変えてテラスにしたとりとやり方はあると思います。子どもが集まる遊具のあたりに、土日だけでも良いのでコーヒースタンドが outlet したりしてくれるといいな、と思います。



KvAVkFvWLDl

2022-12-04



城山公園北側エリアのキャンプ場としての再開発には大賛成です。城山公園の自然を残しつつ、思川の流れを眺めながらのキャンプは最高のシチュエーションだと思います。小山市近郊からも、さらには他県からも遊びに来たくするような魅力的な城山公園に生まれ変わることを期待しています。



歩

2022-11-26



週末ホコ天ストリート、イメージ図含めとても魅力的です。街灯は足元にも設置すると、更に歩きやすくなると思います。
駅西口のロータリーがなくなるなら自家用車の通行頻度も減る事が予想されるので、宇都宮や大宮のように車線を減らし、自転車道等を作る未来も検討もして欲しいです。





公民協働事業で活動する地域内外のプレイヤーをつなぎ、活動を後押し

my groove まなぶる



導入のねらい

公民協働の枠組みとして、町民や団体、企業がまちづくりの主体として活動し、行政はその伴走支援を行う。町内外へその活動を発信し、更なる参加を促すための手段としてプラットフォームを設置した。活動のテーマは、「公園づくり」と「地域の子育て・教育」の2種類。

得られた成果

- 状況が見えづらいまちづくり活動をデジタルプラットフォームによって見える化し、様々な主体、団体間の情報共有とコラボレーションが実現。
- デジタルプラットフォームの「ウィッシュリスト（地域内外の方へ協力を募集できる機能）」を通じて、新規の活動への参加者が増えた。

ユーザーの声

各取り組みの全体像をプラットフォーム上で把握できた部分が良かったです。団体間でお客さんを紹介し合ったりするなど、デジタル上で活動の輪が広がる効果がありました。

ウィッシュリスト※を通じて、お手伝いに来てくれた方がいたのはとても感動的でした。子供だけでなく大人も含め、また地域や町内外問わず誰でもウェルカムな団体にしたかったので、ウィッシュリストをきっかけに仲間が増えたのはとても嬉しかったです。

※現在は、「協力募集」という名称で提供しています

新着コンテンツ

2023-06-24 **記事**
子育て・教育の事業提案を募集します！（※現在募集は終了しています）

2023-06-24 **記事**
公園づくりの事業提案を募集します！（※現在募集は終了しています）

2023-06-23 **記事**
公園づくりについてこれまでの取り組みでわかった課題と意見

2022年度より、真鶴町に関わる皆さまによる協働の取組みを推進する場として、真鶴町公民協働プラットフォームを設置しました！

<展開された活動（一部）>



『まなぶる 青空キッチン』

公園を活用して、食と循環を学び、多世代で交流できる食のイベント。



『Glocal Park』

真鶴の子どもたちと外国からの留学生が触れ合う、公園が舞台の国際交流。



真鶴町担当者の声



活動団体の声

導入事例紹介 ② – 地域活動の可視化・参加の入り口づくりでの活用（神奈川県真鶴町）



Groove
Designs

Q.どんな活動が展開されたの？

- 「公園づくり」、「子育て・教育の地域課題解決」をテーマとして、合計3つの団体が公募型の協働事業を展開。
- 地元住民の団体、地域に根付きたい思いのあるサテライトオフィス設置企業、地域外団体（関係人口）など、さまざまな人が参加しました。

Q.デジタルプラットフォームの位置付けは？

全体のプロセスや取組みの内容を可視化し、団体による活動や、他団体との連携、町内外からの参加を後押しする『**公民協働のエンジン**』となることを目指しました。

Q.協力募集ってなに？

活動団体が具体的なニーズを公開し、具体的なヘルプや参加の方法を募ることができます。閲覧者は、自分の得意なことや関われるやり方を選択し、マッチングされる仕組みです。



【相談先募集！】子ども達が公園の魅力を伝えるガイドブックをつくりたい！

- ◀団体だけでは実現できないことについて、相談を募集。1日で3名の応募があり、実際の参加にもつながった。

Q.活動をどうやって可視化したの？

- 事業全体の動きを段階に応じて整理し、各フェーズにおける動きを追体験できる画面設計を行いました。
- 活動者自身が、活動の状況、イベント告知、開催報告などを記事として作成・投稿しました。各団体のSNSで個別に発信する場合、団体としてつながりがある範囲までしか届けられませんが、プラットフォーム上に情報集約することで、より効率的、効果的に集客が行えます。



まなぶる☆竹林整備講座を実施しました！

Shio-ring
2024-02-07



11月11日 竹林講座第一回目、ヒアリング&プランニングの回を実施しました。

◀活動者による投稿

- 活動団体のインタビュー記事を当社が作成し、活動の趣旨やそこにある想いを発信しました。地域のプレイヤーとなる「人」の存在を見える化することで、参加者にとっての共感や安心感につなげ、参加のハードルを下げます。

充実したサポートで、効果的・効率的に支援します

導入いただいた際は専任サポート担当者よりキックオフを実施し、必要な作業や流れをご説明します。また、意見募集の実施に際しても当社のノウハウに基づくガイドラインをご提供し、設計・運営をご支援します。この他にも参加型での取り組みを成功に導くための多様なサポートをご提供します。
(※サポート資料についてはご契約後の提供となります)

キックオフ資料の構成

本資料について

これは何？

- my grooveを新たに導入された皆さまとのプロジェクト成功に向けた、キックオフ資料です。



資料の構成

- my grooveとは？
- プロジェクト成功のためのポイント！
- 立ち上げに向けた進め方
 - 必要なステップと対応事項
 - 具体的に整理・設定する内容
- プロジェクト運営について
 - 今後のスケジュール・役割分担
 - コミュニケーション/ToDo

そのほか、併せてご提供可能な資料

- 管理画面操作マニュアル
- 情報セキュリティの取組み
- 個人情報取り扱いの考え方
- 意見募集ガイドライン
- 協力募集ガイドライン

意見募集の成功確率を高めるガイドライン



my groove 意見募集ガイドライン

Ver1.0
株式会社 Groove Designs

皆さまに安心してご利用いただくために

当社はISMS認証を取得しています。

当社のマネジメントシステムはGCERTIにてISO/IEC 27001:2022の認定を受けています。

(個人情報等を取り扱う当社福山オフィスでの取得となります)



Groove
Designs



GIJP-1217-IC

ISO/IEC 27001:2022

当社の事例記事や発表論文はこちらです。今後も事例記事は追加予定です。

活用事例 | 「小山駅周辺エリアまちづくりプラン策定プロジェクト」 ー デジタルプラットフォームを通じた市民と行政によるエリアビジョンの共創 ー

<https://note.com/groovedesigns/n/n0dd5c96105ea>

活用事例 | 住民参加をより効果的・効率的に進めたデジタルプラットフォームの活用

<https://note.com/groovedesigns/n/n425ebbf000ee>

「my groove」活用事例 | 「真鶴町公民協働プラットフォーム」 ー 公民協働の実践の可視化・コラボレーション促進 ー

<https://note.com/groovedesigns/n/n5d549126d2ca>

論文 | 日本都市計画学会都市計画報告集 No.22, 2023年5月

デジタルプラットフォームはまちづくりへの参加の裾野を広げることができるのか？

栃木県小山市におけるまちづくりプロジェクトを事例に

小野塚 亮, 浅見 知秀, 東 宏一, 三谷 繭子

https://www.jstage.jst.go.jp/article/reportscpij/22/1/22_134/_pdf/-char/ja

お問合せや、無料相談希望はこちらまで。
事業への活用イメージの相談など、まずはお気軽にご連絡ください。

inquiry@groove-designs.com